

第5回



令和6年3月2日 (土)

教師未来塾

～学ぼうスキル高めよう資質・能力いざ千葉の先生へ～



3月2日(土)に今年度5回目の教師未来塾が行われました。今回は「生徒指導について(いじめ・不登校)」と「教職に就くにあたって」をテーマとした研修と教員採用選考についての説明がありました。受講生の皆さんは、非常に熱心な姿勢で、活発に意見交換をする姿が見られました。

1 講話「生徒指導について(いじめ・不登校)」



生徒指導提要(改訂版)を基に、生徒指導の目的や構造について講話を聞きました。また、「いじめ問題への対応」や「不登校児童生徒への支援」について事例を基に、研修生同士で対応を考えました。

いじめ・不登校問題には一人ではなく、チームで対応することの重要性が分かりました。



生徒指導では先入観で判断せずに、事実確認をしっかりと行っていこうと思いました。

いじめや不登校が増加傾向にあるので、生徒に寄り添い、よく観察することが大切だと感じました。また、事例から考える場面があったので、どう対処したらよいかを想像することができました。

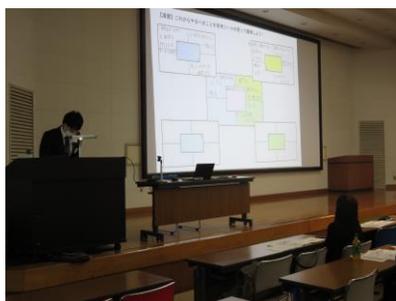
2 講話・演習「教職に就くにあたって」



これまでの教師未来塾の講話・演習を振り返るとともに、これから教職に就くにあたって、研修生それぞれがやるべきことを思考ツールを使ってまとめました。

思考ツールを使うことで、自分のやるべきことが明確になり、目標に向かって頑張ろうと思えました。

自分がどのような教員になりたいのか、どのように生徒と関わりたいのか、改めて考える機会になりました。



先生は生徒の生き方のモデルという言葉が印象的でした。私も生徒のよいモデルとなるように楽しく学ぶ姿勢や、人間性・専門性を磨いていきたいです。